

セプトゥーラ

北山クラシック倶楽部2019

British Brass Knights

7人の英国金管騎士が遂に日本上陸!

ロンドン交響楽団／BBC交響楽団／ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団／オーロラ管弦楽団
ロンドンの名門オーケストラで活躍する金管奏者による夢のブラス・セプテット

6.18 火

19:00開演 (18:30開場)

京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地の26

京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車1番または3番出口 南へ徒歩5分



フィンジ：神は上れり

Finzi: God is Gone Up

エルガー：セレナード ホ短調 作品 20

Elgar: Serenade in E minor Op.20

ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲 第8番 ハ短調 作品 110

Shostakovich: String Quartet No. 8 in C minor Op. 110

ヘンデル：リナルド組曲

Handel: Suite from Rinaldo

ガーシュウィン：パリのアメリカ人

Gershwin: An American in Paris

都合により予告なく演奏者、演目が変更になる場合があります。予めご了承ください。

SEPTURA BRASS SEPTET

全席指定 一般 3,500円 学生 2,500円 小学生 500円 *会員 3,150円

(税込)

発売日：(*会員先行) 2月10日(日) <一般販売> 2月16日(土)

*会員：京都コンサートホール・ロームシアター京都Club (会費1,000円) と京響友の会の会員が対象。

※未就学児童の入場はお断りいたします。

※学生券で入場される際は、証明書のご提示をお願いする場合がございます。

※公演中止以外の出演者、曲目などの変更による払い戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

※お支払い後のキャンセルや座席の変更はお受けできませんのであらかじめご了承ください。

チケットのお問い合わせ・お申し込み

京都コンサートホール

075-711-3231

(10-17時/休館：第1・第3月曜日、休日の場合はその翌平日)

オンラインチケット購入 京都コンサートホール 検索 www.kyotoconcerthall.org

ロームシアター京都 075-746-3201 (10-19時/年中無休 ※臨時休館日を除く)

ローソンチケット 0570-084-005 Lコード：55067 l-tike.com

主催：プロアルテムジケ www.proarte.jp 03(3943)6677

共催：京都コンサートホール (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

後援：村田機械株式会社、日本トランペット協会、日本トロンボーン協会、日本ホルン協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会

「セプトゥーラ」には、 ロンドンのスタープレイヤーたちが揃う。

きちっとした編曲のルールや新しいクラシック音楽の創造を目的とした作品委嘱を通じて、セプトゥーラは真の芸術メディアとしての金管合奏の確立を目指す。

伝統ある英国ブラス界にあって、室内楽におけるブラスアンサンブルのあり方を、セプトゥーラはそのライブ活動およびCDシリーズのリリースによって革新し、再定義を試みる。

現在、王立音楽院の専属アンサンブルとして時代、ジャンル、作曲家にフォーカスした10タイトルのアルバムをナクソス・レコードで録音。彼らが「非現実的歴史」と呼ぶ金管室内楽シリーズをリリースしている。そのいずれもが、オプザーバー紙やBBCミュージックマガジン誌、ファンファーレ誌など英米の専門メディアにおいてすでに高い評価を得ている。

ライブでも、英国流のユーモアにあふれた「クレプトマニア(窃盗癖)」と題されたデビューコンサートシリーズがロンドンで大成功をおさめ、イギリスにとどまらず、スイス、ドイツ、アメリカでツアーを行う。

フィリップ・コブ (トランペット)

Philip Cobb

ロンドン交響楽団首席。

2009年21歳でロンドン交響楽団の首席トランペットになった。ロンドンの名門ギルドホール音楽院で学び、ロイヤル・アルバートホールなどで定期的にソリストとして登場する。

サイモン・コックス (トランペット)

Simon Cox

オーロラ管弦楽団首席、セプトゥーラ共同芸術監督。

ロンドンのプレイヤーによって結成された新進の室内オーケストラ、オーロラ管弦楽団の首席トランペット奏者であり、英国の主要なオーケストラの多くと定期的に演奏している。マシュー・ナイトとともにセプトゥーラの芸術監督をつとめる。

アラン・トーマス (トランペット)

Alan Thomas

BBC交響楽団首席。

2013年よりBBC交響楽団の首席トランペット。その前はバーミンガム市響の首席であった。また、王立音楽院の教授であり、バーミンガム音楽院でも教鞭を執る。

マシュー・ナイト (トロンボーン)

Matthew Knight

ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団副首席。

セプトゥーラ共同芸術監督。英国のほとんどのオーケストラと共演したほか、ロンドン・フィル、ロンドン交響楽団、アカデミー室内管弦楽団などではゲスト指揮者として頻繁に登場。グスタフ・マーラー・ユークゲント管弦楽団のメンバーを経て、王立音楽院で学んだ。

ピーター・ムーア (トロンボーン)

Peter Moore

ロンドン交響楽団副首席。

2008年12歳で、BBC若手音楽家コンクールの最年少受賞。18歳でロンドン交響楽団副首席トロンボーンに就任した。2017-18年シーズンは中国、コロンビアでのソロツアーを行い、その後、ロンドンのウイグモアホールでは武満徹のファンタズマ／カントスIIをBBCウェールズ交響楽団と共演する。現代を代表するトップトロンボーン奏者のひとり。

ダニエル・ウェスト (バス・トロンボーン)

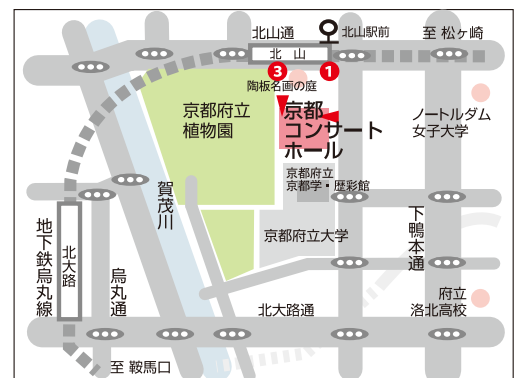
Daniel West

カナダ生まれ。王立音楽院で学んだ後、英国をはじめヨーロッパの主要オーケストラでバスあるいはコントラバストロンボーン奏者として、数多くのコンサートや録音に参加。とくにロンドンのウェストエンドで上演が続くオペラ座の怪人には長年出演を重ねている。現在では、多様なフリー・ミュージシャンとしての地位を確立している。

サーシャ・コウシュク=ヤラリ (チューバ)

Sasha Koushk-Jalali

王立音楽院で学んだ後、フリーランスとしてロンドンを拠点に活動。



京都コンサートホール KYOTO CONCERT HALL

京都市左京区下鴨半木町1番地の26 ☎075(711)3231
京都市営地下鉄烏丸線
北山駅下車1番または3番出口 南へ徒歩5分